

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	9-	8
事業名	母子保健事業費	
会計	款	項
一般	4	1
課名	子ども家庭課	
係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	乳幼児と保護者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	子どもの健やかな成長を支援するため、育児不安の軽減を図り、保護者が安心して子育てができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を出された方に、妊娠・出産・育児の状況を記載する母子健康手帳を交付する。 ・妊婦、産婦及び乳幼児の健康保持・増進を図るため、各種健診及び教室を実施する。 ・母子の心身の状況、養育環境等の把握を行い、育児相談に応じるほか、子育て支援についての情報提供や適切なサービスの提供する。 ・乳幼児健診の結果等により要経過観察となった乳幼児については、必要に応じ保健師が訪問し継続的に支援を行う。 ・不妊治療に係る経費、未熟児の養育医療費を助成する。 ・中学生を対象とし、性教育のための講習を行う。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
1	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	97.50%			%		98	
2	子育て教室等参加者数	783			人		1,355	
3	各種健康診査受診率	88.50%			%		88	
4								
5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			65,029		71,512		78,245	
財源内訳	直接事業費 A		39,931		41,710		51,233	
	うち一般財源		61,948		64,883		70,976	
人件費 (千円) B			25,098		29,802		27,012	
内訳	一般職員 (人・千円)		3.53	23298	4.09	26994	3.76	24816
	臨時職員 (人・千円)		1	1800	1.56	2808	1.22	2196

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	新たな組織体制において、円滑な業務実施を進める。	③取組の課題	支援が必要となる母子が増加しており、関係機関と連携し効率的な支援を行う必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	不妊治療に係る経費や未熟児の養育医療費の助成を行った。また、コロナ禍における子育ての不安感軽減のため、アプリを活用した情報提供やオンライン相談に取り組んだ。	④今後の改善計画	支援が必要な母子に対し、支援プランを策定し、適切な時期に見直しを行いながら切れ目のない支援を提供できる仕組み、体制づくりに取り組む。